

第1章 流域対策目標の策定方針

陸域からの赤土等流出削減目標値を設定するには、赤土等流出による水域及び海域への定量的な削減目標に準じた値を検討する必要がある。しかしながら、現時点ではこのような数値目標並びに設定手法は確立されていない。

このため本編では、ほ場一筆毎に調査して作成された赤土等流出危険度マップを基に、対策の面的重点ほ場をゾーニングし、地域協議会や地元関係機関等に助言を求めた上で「営農対策目標（フルプラン）」、「土木対策目標（フルプラン）」を検討し、更に「石垣島で地域が一体となった効率的かつ持続的な流出削減中期目標」の策定を行った。

なお、石垣島の轟川流域においては、モデル事業において地域と一体となった具体的な対策及び推進等について検討を行い「轟川流域農地対策マスタープラン」（轟川流域農地赤土対策推進検討委員会）が平成17年3月に策定されている。

そのため本編では、轟川流域を除いた石垣島全域のゾーニング並びに営農対策目標、土木対策目標を策定した上で、轟川流域の対策目標値を加味した石垣島全域の対策目標値を策定した。

